事例No.	1116
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	熊本県八代市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

森林所有者意向調査地域における林道等の整備

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

熊本県　八代市（森林所有者意向調査地域における林道等の整備）

- 八代市には、約40,000ヘクタールの民有林があり、林道は69路線を開設しているが、近年の集中豪雨や台風等の影響で林道施設災害が発生しやすい状況にある。また、シカの食害により下層植生が衰退し、落石も多く森林整備作業や木材運搬等に支障をきたしている。このため、林道の排水施設を中心に修繕を行い、災害が発生しにくい林道へと整備を実施。その際、意向調査を基にした森林整備推進の観点から、主に意向調査実施地域を中心に林道整備を行い、森林所有者及び森林整備作業者が所有森林等に行きやすくなる等の環境整備が図られた。今後も森林整備に対する意欲向上を図るため、森林所有者への意向調査と併せて林道等の整備を行う方針である。
- 令和元年度は、林道・作業道合わせて１６路線、森林環境教育に用いる遊歩道の整備１路線の修繕を行い、765ヘクタールの森林所有者へ意向調査を実施

□　事業内容

1　森林所有者意向調査地域における林道等の整備

- 森林所有者意向調査実施地域を中心に林道等の修繕を実施。

【事　業　費】26,820千円（うち譲与税26,754千円）

【実　　績】・林道15路線、作業道1路線、森林環境教育時に使用する遊歩道１路線の修繕

2　森林所有者への意向調査の実施

- 市内２地区において森林所有者に対して経営管理の意向調査を実施 。

【事　業　費】9,284千円（全額譲与税）

【実　　績】・意向調査　430筆　765ヘクタール



（事業１：林道修繕前）



（事業１：修繕後）

□　事業スキーム

1　森林所有者意向調査地域における林道等の整備

市 → 委託 → 建設事業体

2　森林所有者への意向調査の実施

市 → 委託 → 地域住民による法人等 → 調査 → 所有者

□　工夫・留意した点

- 1の事業は、主に意向調査地域を整備し、森林所有者及び森林整備作業者が林道をいつでも安全に利用できるようにした。
  また、排水施設の修繕を行うことで豪雨等による路肩崩壊を防ぐようにした。
- ２の事業は、調査地域住民が組織する団体や地元山林に精通者のいる林業公社へ委託することで、地元住民に森林整備に関心を持ってもらうとともに境界等を把握してもらうようにした。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	38,524千円
②私有林人工林面積（※１）	22,988ha
③林野率（※２）	73.3%
④人口（※３）	127,472人
⑤林業就業者数（※４）	153人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」